

チルコロ

市内の賑やかな場所にあるお洒落なコワーキングスペースで清掃業務をさせていただき5年目になります。週に1~2度、2時間程度の一人仕事になりますが、自分のペースや力量を見極め、仕事に対する思いを冷静に見つめられる、いい機会と空間をご提供いただいています。

■J.Yさん

5月半ばから、コワーキング兼飲食店の清掃の実習に入らせてもらっています。前任者が何人かおられるという事、又細かく記した手順書がある事で見通しがつきやすく、スタッフさんに何度かジョブコーチに入ってもらい、手順書を自分に使いやすいよう修正することにより、少しずつ業務に慣れていきました。週2のお掃除で体力もついてきています。夜に、おいしい料理が並ぶ光景を時に浮かべながら、働くのは嬉しいです。



そらいろの利用者さんには、弊社事務所の清掃にお越しいただいています。サポートの方に丁寧に指導いただいてスタートしたそれぞれの利用者の方々は、きめ細かく作業いただいでいて、とても満足しています。さらに、この清掃業務をきっかけに別の職場へと転職された方も何人もいらっしゃって、時折弊社に顔を出してくださることが、私たちの喜びのひとつとなっています。これからもどうぞよろしくお祈りします。

チルコロ京都代表 野村様



もちづき会だより

今回は、就職されて5年目。そらいろの大ベテランOBさんのお一人。最近、もちづき会の良さに目覚め、ほぼ毎回、参加して下さる方に、もちづき会についてお聞きしてみました。

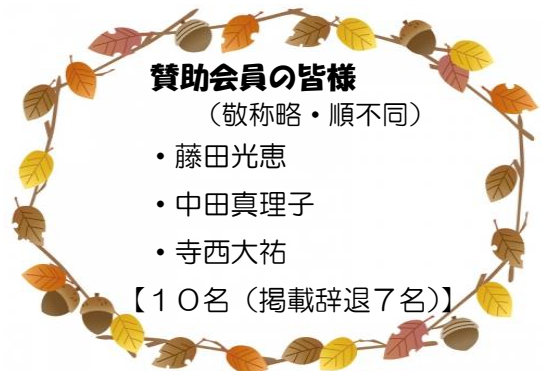


■ハチハチさん

そらいろ卒業後何年か経過しましたが、思い立って今年の4月よりもちづきの会へ参加することにしました。久しぶりの参加でしたが、スタッフさんやOBや現役の方が温かく出迎えてくださり、とても嬉しかったです。もちづきの会で印象深かったのは、問題解決トレーニングです。そらいろでも初の試みだった様ですが、このトレーニングでは、私の仕事の悩みを事例として、皆で話し合いをし解決策を出し合いました。この中で特に得られた事は、立場等の違いは在っても、皆同じ仲間なんだと改めて実感したことです。皆で対話したプロセスを共有できたお陰で、この思いが強くなりました。今後も皆に会うのを楽しみにもちづきの会へ行こうと思います。

見学会のお知らせ

いつでもお気軽にお問い合わせください
『働きたいから、就職活動のサポートをしてほしい』
『就労移行支援事業所って、どんなサポートをしてくれるの?』
とっておられる方に、見学会を開催しています。
見学するだけでも、もちろんOKです。
そらいろが、就労移行支援事業所が、どんなところかまず見学に来てみませんか? ぜひぜひ、お待ちしております☆



賛助会員の皆様

(敬称略・順不同)

- ・藤田光恵
- ・中田真理子
- ・寺西大祐

【10名(掲載辞退7名)】

編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。
今号は、新年度になって就職が決まった方々からの報告、感想を見開きいっぱいに掲載できたことが、とても嬉しかったです。新しいスタッフも迎え、ますますパワーアップしていくそらいろに、今後ご支援をどうぞよろしくお祈りいたします。
(スタッフ 本杉悦子)

新スタッフ紹介

8月1日よりスタッフとして一緒に仕事をさせていただくこととなりました人見琢也です。そらいろの皆様にご学び教わりながら、少しでも早く力になれるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお祈り致します。



特定非営利活動法人 色
就労支援センター そらいろ
〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL & FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : http://sorairo-k.jimdo.com



ひこうきぐも

Vol.03
2018.10

特定非営利活動法人 色 就労支援センター そらいろ

「最近想ったこと」

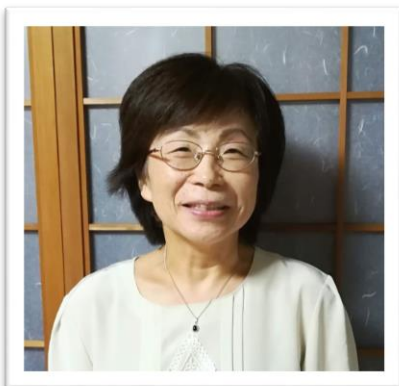
理事 橋本東代子

この機関紙を手にして頂きました皆さまこんにちは、橋本東代子と申します。よろしくお願ひいたします。私は、普段訪問看護ステーションで働いています。

先日、PSW で在ることを忘れない為に、日本精神保健福祉士協会全国大会に参加して来ました。『メンタルヘルスソーシャルワーク実践の深化』とのテーマで、講演や実践報告が有りましたが、私の一番の参加理由は、『夜明け前』というドキュメンタリー映画を見る事でした。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、日本の精神障害者の歴史を知る上では名高い、呉秀三の『精神病患者私宅監督置ノ実況及び其統計的観察』の調査論文に記されている『我が国何十万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。精神病患者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず』との言葉は、私が精神科医療・福祉に関わり始めた時に触発された言葉でした。100年前、有効な治療法が無かった時代に座敷牢に幽閉されることを国として行ってきた歴史が有りました。そのおかしさを調査から明らかにし、治療と福祉の光を当てようとしたのです。精神福祉に関する法律も変わってきましたが、実状はどうでしょう？社会的入院や拘束、貧寒な福祉施策等課題が山積みです。呉秀三の「あなたたちは、一体なにをしてるの」との声が聞こえてきそうです。この映画の企画者のきょうさるんの藤井氏と監督の今井氏の対談もあり、PSW として、人として、何をしたらいいのかと考えさせられました。この映画は、対談とセットで全国をまわられ、京都でも上映されるそうです。皆さまも見てくださいね。

ちょっと、重たい話になったかもしれませんがね。私は、そらいろの理事をさせてもらっていますが、就労についてはほぼ素人同様です。ただ、私が訪問でお住いのごみ掃除から関わった方が、そらいろを経て仕事を、今はたまに一緒に飲みに行ける仲間になったことを嬉しく思っています（すみません、ご本人承諾無しです）。働く事もそうですが、その人らしい生き方を一緒に作っていただける仲間の一人になればいいなって思っていますので、何時でもお声かけ下さいね。

2018年9月吉日



◆profile◆

橋本東代子

ねこのて訪問看護ステーション

精神保健福祉士

看護師

就職 おめでとう!



2018年に入り、ご就職された9名の方の中から、6名の皆さんにお話をお聞きしました。皆さんがそれぞれの場所で頑張っておられる姿は、メンバーさんや私たちを勇気づけてくれます。

Tさん

大阪で訪問介護のお仕事をされています

『働くことと生活』

働いて現在感じていることは、まず闘病とはまた違った大変さがあるということに気が付きました。大変さを「しんどい」という言葉に変えてしまうと困ったことになりますが、本来、社会生活を行う上での「責任感」や「社会性」、人との間の「協調性」など、生活する上での気遣いみたいなものが本当に大事になってきました。

私の場合は、PTSDから来るトラウマがあります。仕事中にいきなりフラッシュバックしてしまうことがあります。働き出すまでは、ただうすくまって耐えるしかありませんでした。

現在の仕事では、やはり対人関係の仕事ですので、プレッシャーと闘病でのブランクで一日一日が目まぐるしく過ぎ行ってゆく生活でした。そらいろ通所から始まって、一つ一つ乗り越えていく中で、そんな「大変さ」がいつしか生活の「達成感」や「充実感」に変わって行ったのも確かですし、本当に発見でもあります。「働くということ」が直接とは言えませんが、少しずつ「希望」につながり、リハビリにつながっていると感じています。これから、山あり谷ありますが、「安心」「自信」「自由」につながって行けばいいと思っています。

『私が仕事をして得たもの』

私が仕事を始めて得たものは自分に対する自信でした。仕事を始める前は自分に自信がなく、社会との関わりも皆無に等しく、これからどう生きていけばいいのか、漠然とした不安が常に自分自身にありました。しかし、仕事を始めたことで、人と関わりを持ち、少しずつではありますが、自分に自信を取り戻すことができました。

仕事を始める前の自分に比べると大分今の自分はコミュニケーション力などを含めて、進歩したと思います。仕事をしたことで、得ることは多かったですし、勇気を持って就職して今は良かったと思っています。まだまだ仕事を始めて一年も経っていませんが、これからも休みなく体調を崩さないように自己管理をしっかりして仕事をしていきたいと思っています。

Mさん

病院で清掃のお仕事をされています

Sさん

京都の都野菜を提供する飲食店の調理場でお仕事をされています

今年6月でそらいろを卒業して、働き始めています。1年8ヶ月間、そらいろに通所し、やっとの想いで仕事が決まり、ホッとしたのも束の間、今は、仕事で毎日、先輩から怒られています。(愛情をもって)

私は、そらいろに通っていなかったら、たぶん、今でも働けていなかったと思います。それだけ、そらいろの役割は大きく、感謝してもし尽くせません。今、私は職場で調理の補助的な仕事をさせてもらっています。野菜の洗浄や料理の盛り

付けなど、今まで自分の家では全く料理経験のない私が、そんなことをやっています。当分の目標は、仕事の収入を安定させ、自分の家から出ていくことです。それと、大きな夢のハワイ永住を目指して、日々精進していくつもりです。

私は今、週に3回タクシー会社で清掃作業の仕事をしています。内容は車庫のゴミの回収、トイレ掃除、シャワー室の掃除の3つです。1日の作業としては、車庫半分、トイレかシャワー室半分といった感じです。車庫のゴミ回収は50~70社ぐらいの列が10カ所あり、1日で多くいければ7カ所ぐらい回収できます。トイレとシャワー室の掃除は用具を用意してもらっているので、それを使ってキレイに掃除できた時は達成感を感じられます。

私は今、働きだして2ヶ月、季節は夏真っ盛りで毎日暑いのですが、会社の敷地内に飲み物が売っているので、それを買って水分補給をして熱中症対策をしています。

私は、この仕事をして良かったことは、1日にけっこうな距離を歩けるので健康にも良いですし、自分のペースで仕事できるのが最高です。これからもこの会社で清掃の仕事を続けていきたいです。

Yさん

タクシーの配車場で、清掃のお仕事をされています

Iさん

祖廟で用務員として参道など清掃のお仕事をされています

僕がそらいろに通って得たものはパソコンの資格そして優しい人たちとの交流を通じて人が好きになった事です。もしそらいろに通っていなかったらデイケアで1日1日同じ生活をして悩んでばかりで就労できなかったかもしれなかったと思います。いざ就労してみてもあらためて人との関わりの大切さ優しさに触れる事があります。お寺の清掃用務員の仕事に就いたのですが雰囲気良くとても気に入って仕事をしています。これから勇気を出して前へ一歩進もうかなと思っている人は自分の存在感が高まったり仕事以外でも経験することで新たな発見や楽しみが生まれると絶対思います。今体調が良くなくても大丈夫。そらいろに行き始めた時は僕自身気力体力もなかったのです。そらいろに通所することで力は知らず知らずのうちに後からついてきます。気軽に来てくださいね。どんな悩みでも受け止めて解決策と一緒に親身になって考えてくれるスタッフやメンバーが待っています。

『就職決定という時を超えて』

ある日、一本の電話がかかった。その内容は初出勤日・仕事の内容など知らされた。私は「これで決まった」と思い、担当の方に報告をした。嬉しかった。

ある日、初出勤をし、制服に着替え、勤務時間になると「洗濯の様子を見ます」と伝えてから始める。その場所を見て進み具合を見て、洗濯を回して、乾燥・たたんで、テーブルなどの拭き掃除、モップなど担当をし、利用者さんの笑顔を見て、静かに見守っている。

今の目標は、一つずつ階段を上がって少しずつ仕事に携わりたい。わたしは「陽だまりのような心」で利用者様を見守りたい。笑顔で初心を忘れず、その方々のサポートする人でありたいと日々頑張っている。

都春京愛さん

高齢者のデイケアで、清掃などお仕事をされています